



東京アマデウス合唱団  
第26回定期演奏会

若き日の J. S. バッハが心酔した  
北ドイツ楽派の巨匠

ディートリッヒ・ブクステフーデ  
*Dietrich Buxtehude*

(1637~1707)

—没後300年記念—

*Tokyo Amadeus Chorus*

カトリック麻布教会  
2007年10月8日



本日はお忙しい中をご来場賜り、厚く御礼申し上げます。

今年は、若き日の J.S バッハが心酔していたと伝えられる北ドイツ楽派の巨匠「ディートリッヒ・ブクステフーデ」の没後 300 年に当り、これを記念して今回の曲を演奏する事と致しました。

2004 年以降、毎年カトリック麻布教会からのご好意とご配慮を賜り、今回もこの素晴らしい響きの聖堂で演奏出来ます事を、団員一同心から感謝しております。

水野先生の懇切なご指導と、練習ピアニストの堀江和子さんのオルガンに助けられ、又今回は海保先生のオーケストラの素晴らしい伴奏という大きな援助を頂き、更には本日ご来場の皆様方からの暖かいご支援と励ましにも支えられて、このような演奏会を開催できる事を団員一同大変喜んでおります。

この荘厳な聖堂の雰囲気の中で、創られてから 300 年を超える時を経たブクステフーデの響きを味わって頂けたら幸いです。

東京アマデウス合唱団 団長 柿沼 哲

# PROGRAM

*Dietrich Buxtehude* (1637~1707)  
ディートリッヒ・ブクステフーデ

## 第1ステージ

*In te Domine speravi* (BuxWV53)

主よ、私はあなたに望みを懸けたのです

*Das neugebor'ne Kindelein* (BuxWV13)

お生まれになったばかりのおさな子

*Du Friedefürst, Herr Jesu Christ* (BuxWV21)

平和の主なる君、イエス・キリストさま

休 憩

## 第2ステージ

*Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes* (BuxWV77)

何物も神の愛から私達を引き離すことがあってはならない

*Jesu meines Lebens Leben* (BuxWV62)

イエスよ、私の生の命

*Alles, was ihr tut mit Worten oder mit Werken* (BuxWV4)

あなたがたが、言葉や行いをもってすることのすべては

(選曲 辻村順子)

# PROFILE

## 指揮 水野克彦



東京藝術大学卒業。

ピアノを滝崎鎮代子、クラリネットを千葉国夫、室内楽を細野孝興の各氏に師事。オルガンの手ほどきを今井奈緒子氏に受ける。

藝大パッサカントークラブに在籍中、小林道夫氏の薫陶を受ける。日本オルガニスト協会会員。

## Symphonia Fons Harmoniae

### ヴァイオリンⅠ 海保あけみ



東京藝術大学卒業。ヴァイオリンを正岡絃子、山岡耕彦、日高毅の各氏に、室内楽を黒沼俊夫氏に師事。

又、藝大パッサカントークラブにて小林道夫氏の指導を受ける。

現在フリーの演奏家として、室内楽・オーケストラ等の演奏を中心に活動中。

### ヴァイオリンⅡ 片桐恵里



武蔵野音大付属高校卒業。東京藝術大学音楽部卒業。同大学院修了。

ヴァイオリンを掛谷洋三氏、浦川宜也氏に、室内楽を、ピュイグ・ロジェ女史、ルイ・グレーラー氏に師事。第四回埼玉県新人演奏会に出演。

東京ハルモニア室内オーケストラのメンバー。

### ヴィオラⅠ 深沢美奈



第3回日本室内楽コンクール入選。1997年、東京藝術大学を経て同大学大学院を修了。中馬敬子、浦川宜也、河合訓子、菅沼準二の各氏に師事。オーケストラ リベラ クラシカのメンバー。

モダン、バロックの様々なオーケストラにて活動中。

### ヴィオラⅡ 吉田 篤(ヴァイオリンⅢ)



東京藝術大学卒業。同大学院修了。ヴァイオリンを石井志都子、浦川宜也の各氏に、ヴィオラを菅沼準二氏、室内楽を松原勝也氏に師事。全日本学生音楽コンクール福岡大会第一位。現在、東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師。コンツェントゥス・ムジクス東京、カルテット・アルファのメンバー。

### チェロ 伊藤恵以子



東京藝術大学卒業。同大学院博士課程修了。

チェロを三木敬之、レーヌ・フラショー、倉田澄子の各氏に師事。

パリ・エコールノルマルで学ぶ。第48回日本音楽コンクール入選。

Ensemble Delice のメンバー。

### コントラバス 栗田涼子



東京藝術大学音楽学部卒業。同大学院修士課程修了。

コントラバスを、永島義男、黒木岩寿の各氏に師事。

2007年、ミュージックマスターズコース in かずさに参加。

パッサカ協会管弦楽団の公演に出演するなど、フリーの演奏家として活動中。

## オルガン 堀江和子(練習ピアニスト)



武蔵野音楽大学短期大学部ピアノ科卒業。

キリスト教音楽学校パイプオルガン科卒業。同研究科修了。

ピアノを水本雄三、野村文子、オルガンを高橋靖子の各氏に師事。

茗荷谷キリスト教会オルガニスト・聖歌隊伴奏者。

日本オルガン研究会会員。

## 演奏曲目について

**Dietrich Buxtehude**(c.1637-1707.5.9)は今日では **Heinrich Schütz** に次いで中期ドイツ・バロック音楽の最も重要な作曲家と考えられ、それはカンタータ形式の発達史においても、声楽コンチェルト法式を多用しながら、シンフォニア・聖書・ソナタ・アリア・リトルネルロ・コラールで内容の多彩化を試み、徐々にその形式を整えて、バッハなどの後期バロック期のカンタータ全盛期を準備した点において、看過できない存在である。今年**は**ブクステフーデ没後ちょうど300年に当たる。

生まれた場所が当時Denmark領のSkåne地方のHelsingborg(現スウェーデン領)であったため、**Diderik Hansen Buxtehude** が本名ではないかと考え、後に、彼は自分の名前をドイツ語化して、**Dietrich**(又は**Dieterich**)と署名するようになったとする説が最近出ている。Denmarkではなく、現ドイツ領のHolstein公国のOldesloeで生まれたとする説もある。彼の家系は北ドイツ・エルベ河の支流エステEstes河畔の都市Buxtehudeに由来する。祖父**Dietrich Buxtehude**(? - c.1624)は1565—1590年のあいだOldesloeの市長を務めた。父**Johann Buxtehude**(1602-1674)はおそらく1633—1641年のあいだHelsingborgの聖マリア教会のオルガニストを務めた後、1641年からDenmark領のHelsingørの聖オライSt.Olai教会のオルガニストに成った。息子**Dietrich**(当時**Diderik**)は1658年に父の以前勤めたHelsingborgの聖マリア教会のオルガニストとして就職した。ちょうどその年、デンマークとスウェーデンのバルト海覇権争いの結果、Helsingborgは2月のロスキレ条約によって割譲され、スウェーデン領になった。1669年にはハンザ同盟が解体し、教会は大きな経済的打撃を受けて窮乏に耐えることを余儀なくされた。1660年に**Klaus Gendel**の後任としてHelsingørの聖マリア教会のオルガニストに転じた**Dietrich Buxtehude**は、ハンザ同盟が終焉を告げる直前の1668年4月11日に、前年11月死去した**Franz Tunder**の後任として、同盟の中心地であったLübeckの聖マリア教会のオルガニスト兼“**Werkmeister**”(教会の書記・財務管理を責務とする)に選任され、8月3日**Tunder**の娘**Anna**と結婚した。

聖マリア教会はLübeckの町の南に在り、1163年にカトリックの木造の教会として建てられたが、1230—47年にかけて2本の尖塔のあるロマネスク様式の聖堂として建て替えられ、ゴシック様式の聖歌隊席が設けられ、15世紀には3つの礼拝堂も付け加えられた。1530年に宗教改革がLübeckに及び、1571年にはプロテスタント教会へと改宗した。そのため、礼拝堂の中には中世以来のカトリック時代の壁画があつて、1477年に作られた内陣と祭壇がそのまま後世まで使われた。1942年の空襲によって教会は大きな被害を受け、壁画も失われたが、現在では修復されている。

聖マリア教会のオルガニストとしての**Buxtehude**の職務は、主要礼拝と祝日の午後とその前日の夕礼拝に、会衆のコラールや聖歌隊のオルガンによる先導を行い、聖餐(カトリックでは聖体拝領)の前後に音楽を演奏する程度であったが、そのほかに、前任者**Tunder**の時代に始まったAbendmusikにおける大編成の合唱や器楽による作品の上演も、入場無料で市の商人達を聴衆にして行なつた。演奏の規模を拡大するために、就任直後の1669年、**Buxtehude**は教会の使われていな

いスペースを奏楽者席にするために教会の身廊に新しいバルコニーを建設することを願い出る。1679年には Abendmusik の奏楽者の規模は 40 名前後に成っていた。こうして、約 40 年間にわたって聖マリア教会の職務を全うした Buxtehude の声楽作品はコレクションとしてのみ現存するため、Gustaf Düben の蒐集した資料と Lübeck tablature A373（音符でない記号で表示された楽譜）が最も重要な資料になっている。多くは、作曲年代が詳らかでなく、台本の内容から初演礼拝の目的が想像されるに過ぎない。その多くは今日カンタータと呼ばれるが、当時はカンタータという名称は世俗曲に対して用いられても、宗教曲に用いられることは少なく、正式な呼び名は「教会音楽」Kirchenstück または協奏曲 Concert であった。今回の演奏曲目の内容は、感謝と信頼と平和の祈りが中心主題になっている。

**In te Domine speravi BuxWV53** はカトリックでラテン語による典礼が行なわれた時代に四旬節前の主日に行なわれるミサの開催の儀で司祭が唱えた、詩編 31（ラテン語聖書では詩編 30）の冒頭聖句「主よ、御もとに身を寄せます。とこしえに恥に落とすことなく、恵みの御業によってわたしを助けてください」（新共同訳）を踏まえた言葉を歌詞にしている。このミサは洗礼志願者のためのものなので、この三声ポリフォニーも同じ時期に洗礼準備のために作曲されたと考えられる。伴奏楽器はオルガンと通奏低音楽器のみの素朴な編成であるが、コンチェルト風に書かれていて、合唱がフーガを展開する。曲の楽譜の後世に付けられた表題は Kantate としてある。

**Das neugebor'ne Kindelein BuxWV13** は降誕節後の第一主日（年末最後の主日）のために作曲されたと考えられる。J.S.Bach のカンタータ BWV122 が同じコラール歌詞を用いてその主日のために作曲されているからである。歌詞の作者はドイツの音楽理論家であり、作曲家であり、聖歌の作詞者でもあった Cyriacus Schneegaß（1546-1597）で、1597年8月に Wackernage と Zahn によって編集された聖歌集に 491 番として載る全四節から成る作品である。Buxtehude はその歌詞に独自の作曲を施してモテット風に仕上げた。J.S.Bach が用いたコラールの旋律は 1604年に Melchior Vulpius の付けたもので、その旋律は短調であるが、Buxtehude の作曲は新年をキリストの降誕とともに迎える喜びを、長調で明るく軽快に表現している。

**Bitte um Frieden BuxWV21** はルター派の教会が使った旧聖歌集『福音教会聖歌集』（Evangelisches Kirchen Gesangbuch:EKG と略される）所収の聖歌 Du Friedefürst,Herr Jesu Christ の全 4 節のうち第 1 節から第 3 節までを歌詞にしたもので、原曲の作曲者は Bartholomäus Gesius、作詞者は Jacob Ebert で 1601 年に作られた。Buxtehude はそれをコンチェルトに編曲して、冒頭のシンフォニアを含めて常に原曲を主旋律として提示しながら器楽合奏、独唱、三声合唱の変奏曲に構成した。シンフォニアでは第 1 ヴァイオリンの奏でる旋律にコラールが表現されている。Buxtehude は同じ聖歌を用いて別に BuxWV20 も編曲している。Bitte um Frieden「平和の祈願」は、1976 年にこの楽譜を出版した Bärenreiter 社が聖歌の歌

意を取って平和の祈りとするために付けたものである。しかし、このような戦争の脅威を意識した歌詞の曲には、幼時に 30 年戦争による深刻な生活への影響を体験し、青年期にデンマーク領の Helsingborg がスウェーデンに割譲されるのを見て来た Buxtehude の強く本能的に平和を求める意識が投影していると見られる。

**Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes BuxWV77** は新約聖書の「ローマの信徒への手紙」8 : 38-39「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、力あるものも、高いところに居るものも、低いところにいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主イエス・キリストによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです。」とある聖句を踏まえた歌詞を台本にしてカンタータに構成したもので、残念ながら台本作者は明らかにされていない。このカンタータは、第 3 節の内容から復活祭後のペリコーペ (Pericope : 聖務用の聖書日課) に関係して作詞作曲されたと考えられる。本日の演奏は全て合唱として行なわれるが、原曲は、聖句を提示する三重唱を始めとして、すべてアリアとして書かれている。2 パートのヴァイオリンとヴィオローネ (低音弦楽器、本日の演奏ではコントラバスが使われる) から成る器楽は序奏と間奏の部分だけ活躍し、始終声楽を引き立たせているのは、小編成のコンチェルトであることによる配慮である。

**Jesu meines Lebens Leben BuxWV62** は全体が、16 世紀にイタリアで生まれ、ドイツでも流行を極めた *ciaccona*(フランスでは *chaconne*) という 3 拍子の舞曲リズムに乗って、シンフォニア、アリア、三声アリアが展開され、終節は四声合唱で締めくくられる。Ernst Christoph Homburg が 1659 年に Wolfgang Weßnitzer の作曲した旋律を用いて受難週のために作詞した八節 (第 5 節が除かれて七節で歌われることもある) から成る聖歌 (EKG) の歌詞のうち、第 1~4 節と第 8 節を一部分書き改めて使用している。

**Alles, was ihr tut mit Worten oder mit Werken BuxWV4** は器楽によってソナタが前奏されたあと、四声合唱と器楽のコンチェルトによってコロサイの信徒への手紙 3 : 17「何を話すにせよ、行うにせよ、すべてをイエスの名によって行い、イエスによって父である神に感謝しなさい」をルター訳の聖書本文で歌う。再びソナタが演奏されたあと、四声アリアによって、上記の聖書に対する応答として、献身と讃美の助けと平安を祈る言葉が器楽のリトルネルロを挟みながら三節の歌詞で歌われる。するとバスのアリオーゾが主を求める心をうながす説教者の言葉を歌い、それに応答する献身を表明する言葉として二節のコラールが最初はソプラノだけで、次は四声合唱によって歌われる。このコラールの歌詞は Georg Niede(1525-1589)が作詞したもので、旋律は 1598 年に発行された *Geistlich Eisleben* に載るものを用いている。EKG では途中部分の形を変えた旋律によって *Aus meines Herzens Grunde sag ich dir Lob und Dank in dieser Morgenstunde,...* という歌詞を歌う。三度ソナタが奏されたあと、再びコロサイの信徒への手紙 3 : 17 が繰り返されて終わる。

(文責：野口 碩)

## 歌詞対訳

### 第1部

#### In te Domine speravi

Dietrich Buxtehude BuxWV53

In te Domine speravi.  
Non confundar in aeternum.

「主よ、私はあなたに望みを懸けたのです」  
ディートリッヒ・ブクステフーデ 作品番号 53

主よ、私はあなたに望みを懸けたのです。  
とこしえに、心を乱されることがありませんよう  
に。 (詩編 31 : 2)

#### Das neugebor'ne Kindelein

Dietrich Buxtehude BuxWV13

Das neugebor'ne Kindelein,  
das herzeliebe Jesulein  
bringt abermal ein neues Jahr  
der auserwählten Christen Schar.

Des freuen sich die Engelein,  
die gerne um uns,  
gerne um und bei uns sein,  
und singen in den Lüften frei,  
daß Gott mit uns versöhnet sei.

Ist Gott versöhnt und unser Freund,  
was kann uns tun der arge Feind?

Trotz Teufel, Welt und Höllenpfort!

Das Jesulein ist unser Hort.

Es bringt das rechte Jubeljahr.  
Was trauern wir dann immerdar?  
Frisch auf, es ist jetzt Singenszeit:  
das Jesulein wend't alles Leid.

「お生まれになったばかりのおさな子」  
ディートリッヒ・ブクステフーデ 作品番号 13

今お生まれになったばかりのおさな子、  
心からの喜びの幼いイエスさまが  
ふたたび新しい年をもたらしてくださる、  
選ばれたキリスト者の群に。

そのために、小さな天使達も喜んで、  
進んで私達のまわりに、  
進んで私達のまわりや傍に居て、  
空中で思い思いに歌っている、  
「神さまが、私達と和解してくださった」と。

神が和解されて私達の味方であられるのなら、  
よこしまな敵が我々に向かって何をすることが  
できようか？

悪魔に負けないぞ、この世が何だ、地獄の入り口  
が何だ！

おさな子のイエスさまは私達の避け所。

正しい聖年がもたらされる。それなら、  
私達は何をいつまで嘆き悲しんで居るのか？  
元気を取り戻せ、今は讚美の時。  
おさな子のイエスさまがすべての苦しみを喜び  
に変えてくださる。

(Cyriakus Schneegaß 1597 年作)



## Bitte um Frieden

Dietrich Buxtehude BuxWV21

### Sinfonia

#### 1. Versus

Du Friedefürst,  
Herr Jesu Christ,  
wahr Mensch und wahrer Gott,  
ein starker Nothelfer du bist  
im Leben und im Tod  
Drum wir allein im Namen dein  
zu deinem Vater schreien.

#### 2. Versus

Recht große Not uns stößet an  
von Krieg und Ungemach,  
daraus uns niemand helfen kann  
denn du, drum führ die Sach!  
Dein Vater bitt,  
daß er ja nit im Zorn mit uns woll fahren!

#### 3. Versus

Gedenk, Herr, jetzund an dein Amt,  
daß du ein Friedfürst bist,  
und hilf uns gnädig allesamt  
jetzund zu dieser Frist!  
Laß uns hinfort dein göttlich Wort  
im Fried noch länger schallen!

Amen.

## 平和の祈願

ディートリッヒ・ブクステフーデ 作品番号 21

### シンフォニア (序曲)

#### 第1節

平和の主なる君、  
イエス・キリストさま、  
正しく人にしてまことの神であられる方、  
あなたは頼もしい危急救護の助け主です、  
生きている間も、いまわのときも。  
それゆえに、私達はひたすらあなたの御名によっ  
てあなたの御父に向って叫ぶのです。

#### 第2節

戦争と災いのまさしく大いなる苦しみが  
私達に迫っています。  
そこから私達を救える者は誰も居りません。  
それならあなたがその事を為さって下さい！  
御父が願って居られるではありませんか、  
怒りにまかせて私達を突っ走らせたくない！

#### 第3節

お務め中に今思い起してください、主よ、  
平和の君であられる事を。  
憐れみを以て私達みんなをお助けください、  
今この時に。  
これからは、あなたの神の御言葉を私達に  
平和のうちにもっともっと響かせてください。

アーメン (そうありますように)

(Jacob Ebert 1601年作)

Evangelisches Kirchen Gesangbuch 所収)

(休憩)

## 第2部

### Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes

**Dietrich Buxtehude BuxWV77**

(\*印 Mittelhochdeutsch)

Nichts,nichts,nichts,  
nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes.

(1.)Wie sollte wohl heißen das zeitliche Leiden,  
das Gottes Geliebte von Gott könnte scheiden?

Wie sollte die Trübsal doch werden genannt,  
die solche kann reißen aus göttlicher Hand?

Ach,wahrlich nicht Angst,  
nicht Verfolgung und Not,nicht Hunger,  
nicht Blöße,Gefahr oder Tod.  
Nichts,nichts,nichts,nichts,  
nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes.

(2.)Auch ist kein erschaffnes Vermögen  
zu nennen,das Gottes Geliebte von Gott sollte  
trennen.

Hier gilt weder Engel noch Menschengestalt,

nicht Fürstentum,Leben,noch Todes Gewalt,  
was ist oder künftig soll werden gebracht,  
nicht Hohes,nicht Tiefes,noch einige Macht.

Nichts,nichts,nichts,  
nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes.

(3.)Denn Gott hat die Liebe so hoch ja getrieben,  
daß er sich mit eigenem Blute verschrieben in  
seinem geliebten und einzigen Sohn,  
der mit ihm beherrschet den himmlischen Thron:

drum ist es vergeblich,was immer \*geschicht:  
die göttliche Liebe verändert sich nicht.

「何物も神の愛から私達を引き離すことがあ  
ってはならない」

ディートリッヒ・ブクステフーデ 作品番号77

何物も絶対に  
私達を神の愛から引き離すことがあってはなら  
ない。(ローマ 8 : 38-39)

この世の苦しみがどういうものを意味しようと、  
神の支配する神の愛を受けた者は、去ることがで  
きようか？

その苦しみがどう名づけられようと、  
そのようなものは神の御手によってぷっつり切  
れてしまうだろうか？

ああ、ほんとうに恐れも、  
迫害も苦しみも、飢えも、  
色あせるものも、危難も死も引き離せない。

何物も絶対に  
私達を神の愛から引き離すことがあってはなら  
ない。

どんな名の付く、造られた宝であろうと、  
神から出た神の愛されるお方は遠ざけられる。

ここでは天使であろうと人の形を取ろうと問題  
ではない、

侯国も(この世の)生も死の支配もむなしい、  
今あるのは、又は将来必ずもたらされるのは、高  
きものの権力でも低きものの力でもなく、ひとり  
の方の力だけ。

何物も絶対に  
私達を神の愛から引き離すことがあってはなら  
ない。

なぜならば、神はかくも尊い愛を駆り立てて、  
ご自分の愛されるひとり子の御子において自らの  
血をささげてくださいったからです。  
その御子は今御自分とともに天の玉座を占めて  
おられます。

それゆえ、いつも身に起こる事はむなしいが、  
神の愛は変わっていないのです。

## Jesu meines Lebens Leben

Dietrich Buxtehude BuxWV62

(シャコンヌ風カンタータ)

「イエスよ、私の生の命」

ディートリッヒ・ブクステフーデ 作品番号 62

## Sinfonia

## シンフォニア (序曲)

### Aria(Sopran)

1. Jesu, meines Lebens Leben,  
Jesu, meines Todes Tod,  
der du dich vor mich gegeben in die tiefste  
Seelennot,  
in das äußerste Verderben,  
nur daß ich nicht möchte sterben ;  
tausend-, tausendmal sei dir, liebster Jesu,  
Dank dafür.

### Coro

2. Du, ach, du hast ausgestanden Lästerreden,  
Spott und Hohn, Speichel, Schläge,  
Strick und Banden,  
du gerechter Gottessohn,  
nur mich Armen zu erretten von des Teufels  
Sündenketten;  
tausend-, tausendmal sei dir, liebster Jesu,  
Dank dafür.

### Aria (Tenor)

3. Du hast lassen Wunden schlagen,  
dich erbärmlich richten zu,  
um zu heilen meine Plagen,  
um zu setzen mich in Ruh;  
ach, du hast zu meinem Segen lassen dich mit Fluch  
belegen;  
tausend-, tausendmal sei dir, liebster Jesu,  
Dank dafür.

### Coro

4. Man hat dich sehr hart verhöhnet,  
dich mit großem Schimpf belegt,  
gar mit Dornen angekrönet,  
was hat dich dazu bewegt,  
daß du möchtest mich ergötzen,  
mir die Ehrenkron aufsetzen;  
tausend-, tausendmal sei dir, liebster Jesu,  
Dank dafür.

### ソプラノ・アリア

イエスは私の生きるための命、  
イエスは私の死ぬために死んでくださる方、  
あなたは私のためにいとも深き  
苦しみのなかに、  
極度の破滅のなかに身をお与えになった。  
ただ、私は死にたくなかっただけなのに。  
その事のゆえに何千回もの感謝があなたにささ  
げられなければなりません。

### 三声合唱 (アルト、テノール、バス)

ああ、あなたは悪口にも、  
嘲笑にもあざけりにも、つばにも打擲にも、  
束縛にも、徒党にも耐え通された、  
あなたは正しい神の御子であられるのに、  
ただ私のような貧しい者達を悪魔の罪の束縛か  
ら救い出すために。  
その事のゆえに何千回もの感謝があなたにささ  
げられなければなりません。

### テノール・アリア

あなたは打ち傷をつけさせ、  
ご自分をみじめな姿にされた、  
私の苦悩を癒すために、  
私を平安の状態に置くために。  
ああ、あなたは私の幸せのために、御自分を  
罵りを浴びるがままにされた。  
その事のゆえに何千回もの感謝があなたにささ  
げられなければなりません。

### 三声合唱 (ソプラノ・アルト・バス)

人間はあなたを極めて辛辣にあざけり、  
あなたに大きな辱めを加え、  
更にその上とげで頭を飾らせた、  
何があなたをその気にならせたのか、  
私を喜ばせたかったのです、  
私に栄光の冠を戴かせたかったのです。  
その事のゆえに何千回もの感謝があなたにささ  
げられなければなりません。

## Coro

5. Ich danke dir von Herzen,  
Jesu, Jesu, vor gesamte Not,  
vor die Wunden, vor die Schmerzen,  
vor den herben, bittern Tod,  
vor dein Zittern, vor dein Zagen,  
vor dein tausendfaches Plagen,  
tausend-, tausendmal sei dir, liebster Jesu,  
Dank dafür.  
Amen.

四声合唱(ソプラノ・アルト・テノール・バス)  
私は心からあなたに感謝します、  
イエスさま、イエスさま、すべてのお苦しみの  
ゆえに、傷のゆえに、お痛みのゆえに、  
辛い、むごい死のゆえに、  
あなたの戦慄きのゆえに、あなたの恐れゆえに、  
あなたの何千倍もの心労のゆえに。  
その事のゆえに何千回もの感謝があなたにささ  
げられなければなりません。  
アーメン (そうありますように)  
(Ernst Christoph Homburg 1659 年作  
Evangelisches Kirchen Gesangbuch 所収)

## Alles, was ihr tut

mit Worten oder mit Werken

Dietrich Buxtehude BuxWV4

「あなたがたが

言葉や行いをもってすることのすべては」  
ディートリッヒ・ブクステフーデ 作品番号 4

## 1. Sonata

ソナタ

## 2. Concerto

Alles, was ihr tut, mit Worten oder mit Werken,  
das tut alles im Namen Jesu,  
und danket Gott und dem Vater durch ihn.

四声合唱と器楽の合奏

あなたがたが言葉や行いを以てすることは、  
すべてイエスの御名によって為し、その方によ  
って神に、御父に感謝をささげなさい。  
(コロサイ 3 : 17)

## 3. Sonata

ソナタ

## 4. Aria

1. Dir, Höchster, dir alleine alles,  
Allerhöchster, dir, Sinne, Kräfte und Begier  
ich nur aufzuopfern meine.  
Alles sei nach aller Pflicht nur zu deinem Preis  
gericht' t.

アリア

あなたに、いと高きお方、全くあなたにのみ、  
至高のお方であるあなたに知覚と能力と欲求を  
ひたすら犠牲としてささげる考えです。  
どうかすべての事がすべての義務に応じて、  
あなたを褒め称えることにのみ向けられます  
ように。

2. Helft mir spielen, jauchzen, singen,

hebt die Herzen himmelan,  
jubele, was jubeln kann,  
laßt all' Instrumente klingen.  
Alles sei nach aller Pflicht nur zu deinem Preis  
gericht' t.

私が物を奏するとき、喜びの声をあげるとき、  
歌うときに助けてください。  
心を天の方へ引きあげてください。  
喜ぶことを喜ぶようにさせてください。  
すべての楽器を鳴り響かせてください。  
どうかすべての事がすべての義務に応じて、  
あなたを褒め称えることにのみ向けられます  
ように。

3. Vater, hilf um Jesu willen,  
laß das Loben löblich sein  
und zum Himmel dringen ein,  
unser Wünschen zu erfüllen,  
daß dein Herz nach Vaterspflicht sei zu unserm  
Heil gericht't.

### 5. Arioso

Habe deine Lust am Herrn,  
der wird dir geben, was dein Herz wünscht.

### 6. Choral

#### Sopran-Solo

Gott will ich lassen raten,  
denn er all Ding vermag;  
er segne meine Taten,  
mein Vornehmen und Sach.  
Ihm hab' ich heimgestellt,  
mein' Leib, mein' Seel, mein Leben,  
und was er sonst gegeben;  
er mach's, wie's ihm gefällt.

#### Coro (\*印 Mittelhochdeutsch)

Darauf so sprech ich Amen  
und zweifle nicht daran:  
Gott wird es all's zusammen ihm wohlgefallen  
\*lan (=lassen);  
und streck nun aus mein' Hand,  
greif an das Werk mit Freuden,  
dazu mich Gott bescheiden in mein'm Beruf und  
Stand.

### 7. Sonata

### 8. Concerto

Alles, was ihr tut, mit Worten oder mit Werken,  
das tut alles im Namen Jesu,  
und danket Gott und dem Vater durch ihn.

御父よ、イエスさまのゆえに助けてください。  
讚美がそれに値するものであり、  
私達のかなえていただかなければならない願い  
が天に届きますように。  
御父の義務をめざすあなたの御心が、  
私達の平安に向けられるようにという願いが。

### バスの短いアリア

主に求める心を持ちなさい、  
主はあなたの心の望むものを与えてくださる。

### コラール

#### ソプラノ・ソロ

神は私を相談させる、  
神は何でもお出来になるからです。  
神は私の行いを、  
私の企てや問題をきよめられる。  
その神の家に私は  
からだも心も命も  
そのほかの神の下さったものも置いています。  
どうぞお気に入るように、お抜いください。

#### 合唱

その事について、私はアーメンと言います。  
その事におぼつかない気を起こしません。  
神はすべてのものがこぞって御自分の御心にか  
なうようになさろうとするでしょう。  
さあ私の手を伸ばして、  
喜んで御業におかかりください、  
その事のために、神は私を呼び出して召命の天職  
とその身分に就かせようとしておられるので  
から。

(Georg Niede作曲 Geistlich Eisleben 所載)

### ソナタ

### 四声合唱と器楽の合奏

あなたがたが言葉や行いを以てすることは、  
すべてイエスの御名によって為し、その方によ  
って神に、御父に感謝をささげなさい。

(コロサイ 3:17)

(文責 野口 碩)

## 東京アマデウス合唱団のご案内 (2007.10 現在)

少人数に適したルネッサンスやバロック時代の宗教曲を積極的に取り上げて、他の合唱団ではあまり歌うことの無い隠れた名曲を歌ってみたい方をお誘いしております。

今後の活動予定は下記の通りですが、少人数のバロックのアンサンブルと一緒に楽しみたい方や興味のある方が居られましたら、是非一度下記の練習会場にお出掛け頂き、見学だけでも大歓迎ですので練習状況等をご覧頂きたいと願っております。

下記ホームページをご参照の上、「護国寺」の同仁キリスト教会内の「美登里幼稚園」へお出掛けいただきたく、団員一同期待してお待ちしております。(事務局 大久保ルミ子)

<http://homepage2.nifty.com/Amadeus/>

### 「東京アマデウス合唱団」

S 辻村順子、松木香織

A 伊藤正子、大久保ルミ子、大友美佐、小川由美子、佐藤まき、宮崎米子

T 小沢 仁、片岡 繁

B 柿沼 哲、野口 碩

### 今後の予定

予 定 2008年11月30日(日) 6時半開演(6時開場)

予 定 カトリック麻布教会

演奏曲目 J.S.バッハ、及びその親族の作曲による小品数曲

J.S.バッハ：モテット “Sei Lob und Preis mit Ehren”

J.C.F.バッハ：モテット “Wachet auf, ruft uns die Stimme” 等

### 参加ご希望の方へ

お問い合わせ先

辻村順子 048-476-4056

大久保ルミ子 03-3960-7714

練習日 毎週水曜日 午後6時半～9時

練習場所 同仁キリスト教会美登里幼稚園 2F

指導者 水野克彦

会 費 月 額 5千円(学生半額)

入会金 1千円

(練習場所への交通案内)右図参照

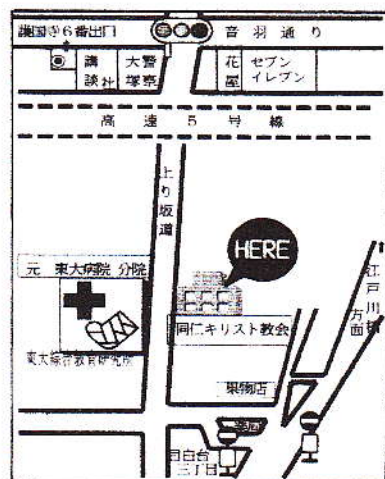
\*地下鉄有楽町線

「護国寺」駅下車 6番出口から徒歩5分

\*JR 山手線「目白」駅より

都バス「椿山荘」または「新宿西口」行きで

「目白台3丁目」下車 徒歩3分



## 演奏会の記録

	開催年月	主な演奏曲目	指揮
第1回	1981.02	モーツァルト(レクイエム<ジュスマイヤー版>、アヴェ・ヴェルム・コルプス)等	寺村博司
第2回	1981.11	ヘンデル(メサイア)	渡辺央己
第3回	1982.11	フォーレ(レクイエム)、ジョスカン・デ・プレ、シュッツ等	鈴木 優
第4回	1983.09	モーツァルト(童冠式ミサ、ミサ・プレヴィス 220)、ヴィクトリア等	黒岩英臣
第5回	1984.09	モーツァルト(レクイエム<ジュスマイヤー版>、ミサ・プレヴィス 194)	黒岩英臣
第6回	1985.10	J.S.バッハ(カンタータ 106)、ブクステフーデ、ハスラー	宮本昭嘉
第7回	1986.10	モーツァルト(グローセ・ミサ)、ヴィクトリア(アヴェ・マリア)等	鈴木 優
第8回	1987.10	シュッツ (ムジカーリッシェ・エクセクティオン)、ハスラー(ミサ・セクンダ)	鈴木 優
第9回	1988.12	モーツァルト(ヴェスペレ 339)、F. J. ハイドン(ミサ・プレヴィス)等	齋藤明生
第10回	1989.11	モーツァルト(レクイエム<バイヤー版>、ミサ・プレヴィス 140)	齋藤明生
春の小演奏会	1990.05	ジョスカン・デ・プレ(パンジェ・リングワ)、ハスラー等	齋藤明生
第11回	1991.02	モーツァルト(リタニア 243)、J.M.ハイドン(ヴェスペレ)	齋藤明生
第12回	1991.11	モーツァルト(ドミニクス・ミサ、サンクタ・マリア・マーテル・デイ)等	齋藤明生
第13回	1992.11	シャルパンティエ(真夜中のミサ)、シュッツ、ブクステフーデ等	齋藤明生
第14回	1993.11	モーツァルト(ミサ・プレヴィス 275)、アルブレヒツベルガー	齋藤明生
15周年記念	1994.11	モーツァルト(レクイエム<ドルース版>、等)= 渋谷混声と合同	齋藤明生
第15回	1995.10	J.S.バッハ(カンタータ 182)、ブクステフーデ(ミサ・プレヴィス)等	齋藤明生
第16回	1996.11	モーツァルト(ヴェスペレ 339)、アルブレヒツベルガー等	齋藤明生
第17回	1997.10	モーツァルト(ミサ・ソレムニス 337、テ・デウム・ラウドムス)等	齋藤明生
第18回	1998.10	J. S. バッハ(カンタータ 61,196)、D. スカルラッティ	齋藤明生
第19回	1999.10	ラインベルガー(スタバト・マーテル)、J.M.ハイドン等	齋藤明生
齋藤先生追悼	2000.07	ハスラー(ミサ・セクンダ)、F.メンデルスゾーン、ホミリウス等	水野克彦
クリスマス	2000.12	四つのアヴェマリア(7曲)、ジョスカン・デ・プレ、ヴィクトリア、パレストリーナ)等	水野克彦
第20回	2001.11	モーツァルト(トリニターティス・ミサ)、F. J. ハイドン等	水野克彦
第21回	2002.10	ドイツ・バロック(J.C.F.バッハ、シュッツ、ブクステフーデ)	水野克彦
第22回	2003.11	ラインベルガー(スタバト・マーテル)、アルブレヒツベルガー	水野克彦
第23回	2004.10	D. スカルラッティ、パレストリーナ、モンテヴェルディ	水野克彦
第24回	2005.11	シュッツ、テレマン、ブクステフーデ (カンタータ)	水野克彦
第25回	2006.11	L. レヒナー(受難曲)、J.D.ゼレンカ(洗足木曜日のためのレスポンソリア等)	水野克彦
第26回	2007.10	D. ブクステフーデ (カンタータ 6曲)	水野克彦



Dietrich Buxtehude  
(1637-1707)

*Colpo Amadeus Chorus*

SINCE 1980